

中津川市民病院外科後期研修カリキュラム

1. カリキュラムの名称

中津川市民病院外科専門医修練カリキュラム

2. カリキュラムの目的と特徴

外科医にとって必要な知識を学び、問題解決のための科学的思考力と基本的診療技術を修得し、チーム医療ができることを目標とする。

外科専門医を目指す医師が、卒後初期研修終了後に専門医資格習得に必要な要項を充足することを目的とした3年間の修練カリキュラムである。

当科は、日本外科学会指導医専門医認定医、日本消化器外科学会指導医専門医認定医、日本乳癌学会認定医、精中委認定マンモグラフィー読影認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、消化器がん外科治療認定医、麻酔科標榜医等の資格を有した医師が在籍しており、消化器外科内分分泌外科を中心に、手術のみならず麻酔業務、化学療法、緩和医療まで幅広く行っている。したがってこうした医療を修練する機会は十分であると自負している。

3. カリキュラム指導者と施設

カリキュラム指導者: 中津川市民病院 診療部長(兼)外科部長 丸山浩高

基幹施設名: 中津川市民病院外科

カリキュラムに参加する診療科: 外科

外科病床: 32床

指導責任者: 診療部長(兼)外科部長 丸山浩高

日本外科学会指導医: 丸山浩高

日本消化器外科学会指導医: 丸山浩高

4. 到達目標

日本外科学会外科専門医修練カリキュラムに準じる。

<http://www.jssoc.or.jp/procedure/specialist/curriculum.pdf>

(1) 外科診療に必要な基礎的知識、検査、処置、手技に習熟すること。

(2) 主な習得手術目標。

研修1年目: 外来手術、鼠径ヘルニア、虫垂炎、胆嚢摘出術、乳癌手術、腸切除術

研修2年目: 胃切除術、結腸切除術、イレウス手術

研修3年目: 胃全摘術、直腸手術

(3) 以上の研修の結果、必ず経験する有意義な診療経験を学会で報告し、論文に残すこと。

5. 行事

月～金曜日: 手術

火曜日: 消化器内科合同カンファレンス、病理合同カンファレンス、外科カンファレンス

金曜日: 摘出標本切り出し

第2.4火曜日: 英語論文抄読会

(当直は1～3回/月程度であり、収入も他院に比べて多い。したがって、非常に良い外

科医環境と思われる。)

6. 学会活動

各種学会出席は5日/年以上が確約されている。
学会論文活動の経済的補助も充足している。

7. 休暇

病気時はもちろん休める。
連続した休暇も十分に取っていただく。
海外旅行も可。

8. 研修期間

3年間を単位とする。研修の目標達成のため、研修期間を更新することができる。

9. 研修後

希望の病院にて勤務ができる。
特に名古屋大学医学部第二外科、消化器外科、内分泌外科、移植外科や愛知県がんセンター、名古屋医療センター等とのつながりが深いので、こうしたいわゆる High Volume Center や関連病院に紹介、赴任することもできる。
自然があふれるだけでなく、中央アルプスや御岳山を間近で見られ、ゴルフ場(いくつも本コースがある)まで5分の当院でLOHASな外科医生活をエンジョイすることももちろんOK。